

対象校No. 1029
注4

学校コード F140310110767
注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 学部の学科の設置
注1



注2
日本経済大学 経営学部 デジタルビジネス・マネジメント学科

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正後大学設置基準適用)

学校法人 都築育英学園
令和8年5月1日現在

作成担当者	
担当部局(課)名	経営学部 東京渋谷キャンパス
職名・氏名	ケイエイガクフジョウ テラオカコウジ 経営学部長・寺岡幸二
電話番号	03-6855-5407
(夜間)	080-4190-8390
e-mail	k.teraoka@tk.jue.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(令和◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・「〇〇短期大学 △△学科」
・「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)」
・「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和8年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

経営学部

＜デジタルビジネス・マネジメント学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	20
4. 既設大学等の状況	21
5. 教育研究実施組織の状況	23
6. 附帯事項等に対する履行状況等	34
7. その他全般的事項	36

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 都築育英学園

(2) 大学名

日本経済大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒150-0031
東京都渋谷区桜丘町2-4-5

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ツヅキ アスカ) 都築 明寿香 (平成19年11月)		
学長	(ツヅキ アスカ) 都築 明寿香 (平成19年11月)		
学部長	(アカセ トモヒデ) 赤瀬 朋秀 (平成28年4月)	(テラオカ コウジ) 寺岡 幸二 (令和8年4月)	学内人事異動に伴う変更 2026年4月1日 (8)
学科長等	(カナヤ タケアキ) 金谷 武明 (令和6年4月)	(テラオカ コウジ) 寺岡 幸二 (令和8年4月)	学内人事異動に伴う変更 2026年4月1日 (8)

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和7年度に報告する内容 → (7)

令和8年度に報告する内容 → (8)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 - ・様式は、令和3年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和8年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
経営学部 デジタルビジネス・ マネジメント学科 学士(経営学)	経済学関係	4 年	80 人	2年次 人 3年次 人 4年次 人	320 人	-	

- (注) 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1)又は(その2の2))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	80人 () []	人 () []	80人 () []	人 () []	80人 () []	人 () []	春季入学以外 の入学時期と 入学定員内訳	0.40倍	0.40倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	33 () [4]	() []	93 () [56]	() []	138 (3) [110]	() []				
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	32 () [4]	() []	84 () [53]	() []	127 (3) [101]	() []				
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	20 () [3]	() []	46 () [20]	() []	65 (1) [44]	() []				
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	13 () [2]	() []	39 () [17]	() []	46 (0) [29]	() []				
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	0.16	-	0.48	-	0.57	-				

- (注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 - ・()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなど、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・転入学生は記入しないでください。
 - ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 - ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳(予定を含む)を記載してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
 - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和9年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「(5) ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-			13		39		46		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[]	[]	[3]	[]	[17]	[]	[29]	[]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	()	()	()	()	()	()	()	()	
2年次			-	-	-	-			10		37		
			[-]	[-]	[-]	[-]	[]	[]	[3]	[]	[15]	[]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	()	()	()	()	()	()	
3年次					-	-	-	-			10		
					[-]	[-]	[-]	[-]	[]	[]	[3]	[]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	()	()	()	()	
4年次							-	-	-	-			
							[-]	[-]	[-]	[-]	[]	[]	
							(-)	(-)	(-)	(-)	()	()	
計							13		49		93		
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[2]	[]	[20]	[]	[55]	[]	
	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した**在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和3年度	- 人	- 人	令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	人	人	令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	10 人	3 人	令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	3 人	0 人	修学意欲の低下(1人)、学生個人の心身に関する事情(2名)
令和7年度	49 人	2 人	令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
			令和7年度	2 人	2 人	
令和8年度	93 人	0 人	令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
			令和7年度	人	人	
			令和8年度	人	人	
合計		5 人		5 人	2 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数 (a)}}{\text{令和3年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数 (a)}}{\text{令和4年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数 (a)}}{\text{令和5年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数 (a)}}{\text{令和6年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{3}{13} = \boxed{23.07} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数 (a)}}{\text{令和7年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{2}{51} = \boxed{3.92} \%$$

【令和8年度】

$$\frac{\text{令和8年度の退学者数 (a)}}{\text{令和8年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{0}{93} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<経営学部 デジタルビジネス・マネジメント学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					員(以外の教 手)
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目 語学系	英語 I A	1前		2								1
	英語 I B	1後		2								1
	英語 II A	1前		2			1					
	英語 II B	1後		2			1					
	英語 III A	1前		2				1				
	英語 III B	1後		2				1				
	英語 IV A	2前		2					1			
	英語 IV B	2後		2					1			
	ビジネスイングリッシュ I A	2前		2			1					
	ビジネスイングリッシュ I B	2後		2			1					
	ビジネスイングリッシュ II A	3前		2			1					
	ビジネスイングリッシュ II B	3後		2			1					
	韓国語 I A	1前		2			2					1
	韓国語 I B	1後		2			2					1
	韓国語 II A	2前		2			2					1
	韓国語 II B	2後		2			2					1
	中国語 I A	1前		2								1
	中国語 I B	1後		2								1
	中国語 II A	2前		2			1					
	中国語 II B	2後		2			1					
	ドイツ語 I A	1前		2			1					
	ドイツ語 I B	1後		2			1					
	ドイツ語 II A	2前		2			1					
	ドイツ語 II B	2後		2			1					
	フランス語 I A	1前		2			1					
	フランス語 I B	1後		2			1					
	フランス語 II A	2前		2			1					
	フランス語 II B	2後		2			1					
	スペイン語 I A	1前		2								1
	スペイン語 I B	1後		2								1
	スペイン語 II A	2前		2								1
	スペイン語 II B	2後		2								1
	ロシア語 I A	1前		2								1
ロシア語 I B	1後		2								1	
ロシア語 II A	2前		2								1	
ロシア語 II B	2後		2								1	
哲学 I	1前		2			1						
哲学 II	1後		2			1						
心のしくみと行動の科学	1前		2								1	
日本史 I	1前		2								1	
日本史 II	1後		2								1	
西洋史 I	1前		2								1	
西洋史 II	1後		2								1	
東洋史 I	1前		2								1	
東洋史 II	1後		2								1	
文学をよむ文化を知る	1後		2								1	
ビジネスライティング(文章表現)	1前		2			1						
倫理学 I	1前		2			1						

【令和8年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					員(以外の教 手)
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目 語学系	英語 I A	1前		2								1
	英語 I B	1後		2								1
	英語 II A	1前		2			1					
	英語 II B	1後		2			1					
	英語 III A	1前		2				1				
	英語 III B	1後		2				1				
	英語 IV A	2前		2					1			
	英語 IV B	2後		2					1			
	ビジネスイングリッシュ I A	2前		2			1					
	ビジネスイングリッシュ I B	2後		2			1					
	ビジネスイングリッシュ II A	3前		2			1					
	ビジネスイングリッシュ II B	3後		2			1					
	韓国語 I A	1前		2			2					1
	韓国語 I B	1後		2			2					1
	韓国語 II A	2前		2			2					1
	韓国語 II B	2後		2			2					1
	中国語 I A	1前		2								1
	中国語 I B	1後		2								1
	中国語 II A	2前		2			1					1
	中国語 II B	2後		2			1					1
	ドイツ語 I A	1前		2			1					1
	ドイツ語 I B	1後		2			1					1
	ドイツ語 II A	2前		2			1					1
	ドイツ語 II B	2後		2			1					1
	フランス語 I A	1前		2			1					
	フランス語 I B	1後		2			1					
	フランス語 II A	2前		2			1					
	フランス語 II B	2後		2			1					
	スペイン語 I A	1前		2								1
	スペイン語 I B	1後		2								1
	スペイン語 II A	2前		2								1
	スペイン語 II B	2後		2								1
	ロシア語 I A	1前		2								1
ロシア語 I B	1後		2								1	
ロシア語 II A	2前		2								1	
ロシア語 II B	2後		2								1	
哲学 I	1前		2								1	
哲学 II	1後		2								1	
心のしくみと行動の科学	1前		2								1	
日本史 I	1前		2								1	
日本史 II	1後		2								1	
西洋史 I	1前		2								1	
西洋史 II	1後		2								1	
東洋史 I	1前		2								1	
東洋史 II	1後		2								1	
文学をよむ文化を知る	1後		2								1	
ビジネスライティング(文章表現)	1前		2					1				
倫理学 I	1前		2								1	

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					員以外の教員(助手)
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目	英語ⅠA	1前		2								1
	英語ⅠB	1後		2								1
	英語ⅡA	1前		2								1
	英語ⅡB	1後		2								1
	英語ⅢA	1前		2					1			
	英語ⅢB	1後		2					1			
	英語ⅣA	2前		2					1			
	英語ⅣB	2後		2					1			
	ビジネスイングリッシュⅠA	2前		2				1				
	ビジネスイングリッシュⅠB	2後		2				1				
	ビジネスイングリッシュⅡA	3前		2				1				
	ビジネスイングリッシュⅡB	3後		2				1				
	韓国語ⅠA	1前		2			2					1
	韓国語ⅠB	1後		2			2					1
	韓国語ⅡA	2前		2			2					1
	韓国語ⅡB	2後		2			2					1
	中国語ⅠA	1前		2								1
	中国語ⅠB	1後		2								1
	中国語ⅡA	2前		2								1
	中国語ⅡB	2後		2								1
	ドイツ語ⅠA	1前		2								1
	ドイツ語ⅠB	1後		2								1
	ドイツ語ⅡA	2前		2								1
	ドイツ語ⅡB	2後		2								1
	フランス語ⅠA	1前		2				1				
	フランス語ⅠB	1後		2				1				
フランス語ⅡA	2前		2				1					
フランス語ⅡB	2後		2				1					
スペイン語ⅠA	1前		2								1	
スペイン語ⅠB	1後		2								1	
スペイン語ⅡA	2前		2								1	
スペイン語ⅡB	2後		2								1	
ロシア語ⅠA	1前		2								1	
ロシア語ⅠB	1後		2								1	
ロシア語ⅡA	2前		2								1	
ロシア語ⅡB	2後		2								1	
基礎科目 教養科	哲学Ⅰ	1前		2								1
	哲学Ⅱ	1後		2								1
	心のしくみと行動の科学	1前		2								1
	日本史Ⅰ	1前		2								1
	日本史Ⅱ	1後		2								1
	西洋史Ⅰ	1前		2								1
	西洋史Ⅱ	1後		2								1
	東洋史Ⅰ	1前		2								1
	東洋史Ⅱ	1後		2								1
	文学をよむ文化を知る	1後		2								1
	ビジネスライティング(文章表現)	1前		2				1				
	倫理学Ⅰ	1前		2								1
	倫理学Ⅱ	1後		2								1
	地理学Ⅰ	1前		2								1
地理学Ⅱ	1後		2								1	
社会学概論	1後		2				1					
政治学Ⅰ	1前		2								1	
政治学Ⅱ	1後		2								1	

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	英語ⅠA	1前		2									1
	英語ⅠB	1後		2									1
	英語ⅡA	1前		2					1				
	英語ⅡB	1後		2					1				
	英語ⅢA	1前		2							1		
	英語ⅢB	1後		2							1		
	英語ⅣA	2前		2							1		
	英語ⅣB	2後		2							1		
	ビジネスイングリッシュⅠA	2前		2					1				
	ビジネスイングリッシュⅠB	2後		2					1				
	ビジネスイングリッシュⅡA	3前		2					1				
	ビジネスイングリッシュⅡB	3後		2					1				
	韓国語ⅠA	1前		2				2					1
	韓国語ⅠB	1後		2				2					1
	韓国語ⅡA	2前		2				2					1
	韓国語ⅡB	2後		2				2					1
	中国語ⅠA	1前		2									1
	中国語ⅠB	1後		2									1
	中国語ⅡA	2前		2						1			
	中国語ⅡB	2後		2						1			
	ドイツ語ⅠA	1前		2									1
	ドイツ語ⅠB	1後		2									1
	ドイツ語ⅡA	2前		2									1
	ドイツ語ⅡB	2後		2									1
	フランス語ⅠA	1前		2					1				
	フランス語ⅠB	1後		2					1				
フランス語ⅡA	2前		2					1					
フランス語ⅡB	2後		2					1					
スペイン語ⅠA	1前		2									1	
スペイン語ⅠB	1後		2									1	
スペイン語ⅡA	2前		2									1	
スペイン語ⅡB	2後		2									1	
ロシア語ⅠA	1前		2									1	
ロシア語ⅠB	1後		2									1	
ロシア語ⅡA	2前		2									1	
ロシア語ⅡB	2後		2									1	
基礎科目 教養科	哲学Ⅰ	1前		2									1
	哲学Ⅱ	1後		2									1
	心のしくみと行動の科学	1前		2									1
	日本史Ⅰ	1前		2									1
	日本史Ⅱ	1後		2									1
	西洋史Ⅰ	1前		2									1
	西洋史Ⅱ	1後		2									1
	東洋史Ⅰ	1前		2									1
	東洋史Ⅱ	1後		2									1
	文学をよむ文化を知る	1後		2									1
	ビジネスライティング(文章表現)	1前		2						1			
	倫理学Ⅰ	1前		2									1
	倫理学Ⅱ	1後		2									1
	地理学Ⅰ	1前		2									1
地理学Ⅱ	1後		2									1	
社会学概論	1後		2						1				
政治学Ⅰ	1前		2									1	
政治学Ⅱ	1後		2									1	

「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員（助手を除く）」欄は「兼任・兼任」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員（大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」）」数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員（助手を除く）」（大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員（助手を除く）」）数は、認可時又は届出時の「兼任・兼任」数との比較において変更となっている箇所を**太字の赤字**としてください。

（専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。）

- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度 2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度（令和7年度開設であれば令和6年度以前）の表は適宜削除してください。（2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に（新）又は（旧）と追記してください。
（例：記載順）【認可時又は届出時】→【令和8年度】（新）→【令和7年度】（新）→【令和6年度】→【令和5年度】→【令和8年度】（旧）→【令和7年度】（旧）

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・令和6年4月に金谷武明教授が就任のため、「S. D. SeminarA」、「S. D. SeminarB」を担当。
- ・令和6年4月に押久保政彦講師が就任のため、「知的財産管理」を担当。
- ・辻本政雄准教授辞任のため、「経済学A」、「経済学B」を小林和馬講師へ、「環境と社会生活」を海上知明講師に変更。
- ・望月洋佑准教授辞任のため、「数字でよみとくビジネス」を山本絢子講師へ変更。
- ・海楽助教辞任のため、「情報リテラシーI (ビジネススキル)」、「情報リテラシーII (AI・データサイエンス)」を寺岡幸二准教授と馬場建至講師に変更、「情報リテラシーI (ビジネススキル)」、「情報リテラシーII (AI・データサイエンス)」「情報リテラシーIII (コンテンツ基礎)」、「情報リテラシーIV (コンテンツ応用)」を福島綾一教授に変更。
- ・天野雅貴講師辞任により、「動植物の体のしくみ」を跡部秀之講師に変更。
- ・カルロスアルバロベルチ講師辞任により、「スペイン語IA」、「スペイン語IB」、「スペイン語IIA」、「スペイン語IIB」をベロニカリエスコエルナンデス講師に変更。
- ・佐藤一明講師辞任により、「政治学I」、「政治学II」を松本尚子講師に変更。
- ・續訓美教授辞任により、「哲学I」、「哲学II」、「倫理学I」、「倫理学II」を米田祐介講師に、「ドイツ語IA」、「ドイツ語IB」、「ドイツ語IIA」、「ドイツ語IIB」を松本尚子講師に変更。
- ・時間割編成上の理由により、江尻俊章教授が「Webサイト作成A」、「Webサイト作成B」を担当。
- ・時間割編成上の理由により、寺岡幸二准教授が「デジタルビジネス概論」を担当。
- ・時間割編成上の理由により、川上恭子講師が「情報リテラシーIII (コンテンツ基礎)」、「情報リテラシーIV (コンテンツ応用)」を担当。

【令和7年度】

- ・カリキュラム編成上の理由により「デジタルプラットフォーム入門」、「DX (デジタル・トランスフォーメーション)」を追加し金谷武明教授が担当。
 - ・時間割編成上の理由により「基礎ゼミA」、「基礎ゼミB」、「データサイエンティスト演習IA」、「データサイエンティスト演習IB」を金谷武明教授が担当。
 - ・時間割編成上の理由により「ベンチャービジネス概論」「デジタルビジネス起業論」を江尻俊章教授が担当。
 - ・カリキュラム編成上の理由により「デジタルビジネス・組織論」を廃止し、同学科の経営組織論に統合。
 - ・時間割編成上の理由により「ビジネスフレームワーク演習」、「デジタルサイエンス概論」、「デジタルビジネス・マネジメント特講A」、「デジタルビジネス・マネジメント特講B」を寺岡幸二准教授が担当。
 - ・時間割編成上の理由により「デジタルビジネス・イノベーション概論」、「マーケティング論A」、「マーケティング論B」を千野根稜講師が担当。
 - ・カリキュラム編成上の理由により「デジタルビジネス・マーケティング論」を廃止し、教育の質向上のため春学期にA、秋学期にBとし、通年科目として配置し、馬場建至講師が担当。
 - ・時間割編成上の理由により「デジタルビジネス・マーケティング論A」、「デジタルビジネス・マーケティング論B」、「データマーケティング論」、「デジタルコマース概論」、「スポーツ」を馬場建至講師が担当。
 - ・時間割編成上の理由により「中国語IIA」、「中国語IIB」を神野智久講師が担当。
 - ・令和7年4月に荒木貴之教授が就任のため「人的資源管理論」、「動植物の体のしくみ」を担当。
 - ・校務運営上の理由により「英語IIA」、「英語IIB」をクンデベンジャミンウイリアム講師が担当。
 - ・時間割編成上の理由により「グラフィックデザイン演習」を竹中綾子講師が担当。
 - ・校務運営上の理由により「ソフトウェアプログラミング論」を東海林大嗣講師が担当。
 - ・校務運営上の理由により「ディープラーニングA」、「ディープラーニングB」を明関賢太郎講師が担当。
 - ・校務運営上の理由により「プログラミングA」、「プログラミングB」を白男川恵講師が担当。
 - ・カリキュラム編成上の理由により「デジタルビジネス・AI論」を廃止し、教育の質向上のため春学期にA、秋学期にBとし、通年科目として配置し、米谷仁美講師が担当。
 - ・時間割編成上の理由により「スポーツ論」を門脇正法講師が担当。
- 新井隆司教授は、令和7年4月に本学との採用に係る合意に至っていたものの、前年12月に健康上の事情により、やむを得ず本学への着任を辞退担当予定であったデジタルビジネス財務会計論は経営学科に配置している財務会計論も受講可能なので、デジタルビジネス・マネジメント学科在籍学生は経営学科の他学科受講で代替えとする体制に変更した。
- 門田進一郎教授は、令和7年4月に本学との採用に係る合意に至っていたものの、同年1月に配偶者の健康上の理由により、やむを得ず本学への着任を辞退担当予定であったデジタルコマース概論は、馬場建至講師が1年次に引き続き担当することとした。
- このため、当該教員の未着任によって学生に対する教育提供に支障は生じておらず、今後も適切な教育体制を維持することとする。

【令和8年度】

- ・カリキュラム編成上の理由により「美術史」を追加し木村映美講師が担当。
- ・カリキュラム編成上の理由により「基礎からの数学 (入門)」「基礎からの数学 (基礎)」を追加し呉我春尚講師が担当。
- ・カリキュラム編成上の理由により「ワルヘルス入門」を追加しデジレロイバルレミ講師が担当。
- ・カリキュラム編成上の理由により「現代サイエンス入門」を追加し荒木貴之教授が担当。
- ・カリキュラム編成上の理由により「就職基礎力演習IA」「就職基礎力演習IB」「就職基礎力演習IIA」「就職基礎力演習IIB」を追加し竹田津知子教授が担当。
- ・カリキュラム編成上の理由により「生成AIリテラシー (入門)」「生成AIリテラシー (基礎)」を追加し金谷武明教授が担当。
- ・時間割編成上の理由により「プレゼンテーション演習」を水谷嘉仁講師が担当。
- ・時間割編成上の理由により「データサイエンティスト演習IA」「データサイエンティスト演習IB」「データサイエンティスト演習IIA」「データサイエンティスト演習IIB」をドゥラゴ英理花講師が担当。
- ・時間割編成上の理由により「デジタルコンテンツ演習IA」「デジタルコンテンツ演習IB」を明関賢太郎講師が担当。
- ・時間割編成上の理由により「知的財産管理」を押久保政彦が担当。
- ・カリキュラム編成上の理由により「デジタルビジネス・AI論A」を「生成AI入門A」、「デジタルビジネス・AI論B」を「生成AI入門B」に名称変更。
- ・カリキュラム編成上の理由により「生成AI演習A」「生成AI演習B」を追加し金谷武明教授が担当。
- ・カリキュラム編成上の理由により「生成AIビジネス応用論A」「生成AIビジネス応用論B」を追加し金谷武明教授が担当。

(注) 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容 (配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など) を箇条書きで記入してください。
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準 (令和4年10月1日施行) の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合 (例:「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更) や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合 (例:「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更) については、

記入しないでください。

- ・ 不要な年度（令和7年度開設であれば令和6年度以前）の表は適宜削除してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
11 科目	137 科目	0 科目	148 科目	11 科目 []	153 科目 [+16]	0 科目 []	164 科目 [+16]	設置時の計画：必修11科目、選択137科目、自由0科目、計(A)148科目 変更状況：必修11科目、選択153科目、自由0科目、計164科目 実践的かつビジネスに即したスキルを身につけるための社会人リテラシー科目、および近年の生成AIスキルに対応する科目など、社会ニーズを捉えた科目を追加。

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	デジタルビジネス・組織論	2	2	専門	選択	学科専門科目の経営組織論を受講することで到達目標に達するため
2	デジタルビジネス・財務会計論	2	2	専門	選択	経営学科に配置している財務会計論を受講可能なため
3	デジタルビジネス・マーケティング論	2	2	専門	選択	半期科目の当該科目を廃止し、教育の質向上のため春学期にA、秋学期にBとし、 <u>通年科目として配置</u>
4	デジタルビジネス・AI論	2	2	専門	選択	半期科目の当該科目を廃止し、教育の質向上のため春学期にA、秋学期にBとし、 <u>通年科目として配置</u>

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

学科の特徴や専門性がより分かりやすくなり時代のニーズに合わせた科目を配置することでより実践的なスキルを身につけることができ、デジタルテクノロジーの中でも特にAIは急速に重要性が高まっており、半期で理解を深めるには不十分なため、通年科目に変更した。

学生には3月の履修ガイダンス時、および学生掲示板、大学が個々に付与しているメールアドレスに送信することで周知徹底を図っている。

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{4}{148} = \boxed{2.7} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体		
	校舎敷地	93,470.90㎡	7,229.03㎡	㎡	100,699.93㎡			
	その他	48,136.84㎡	10,000.00㎡	㎡	58,136.84㎡			
	合計	141,607.74㎡	17,229.03㎡	㎡	158,836.77㎡			
(2) 校舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
	50,525.35㎡ (50,525.35㎡)	386.00㎡ (386.00㎡)	㎡ (㎡)	50,911.35㎡ (50,911.35㎡)				
(3) 教室・教員研究室	教 室	36室	教員研究室	45室				
(4) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書		学術雑誌		機械・器具 点	標本 点	PC 13台 (4台追加)、貸出しPC4台、検索PC1台 プロジェクター2台、 DVDプレーヤー4台
		[うち外国書] 冊	電子図書 [うち外国書]	[うち外国書] 種	電子ジャーナル [うち外国書]			
	経営学部 デジタルビジネス・マネジメント学科	56,410 [17,921] (56,677 [17,830]) (56,508 [17,670])	262 [0] (224 [0]) (250 [0])	48 [17] (37 [6])	1,000 [1,000] (1,000 [1,000])	29 (20) (24)	()	
	計	56,410 [17,921] (56,677 [17,830]) (56,508 [17,670])	262 [0] (224 [0]) (250 [0])	48 [17] (37 [6])	1,000 [1,000] (1,000 [1,000])	29 (20) (24)	()	
(5) スポーツ施設等	スポーツ施設		講堂		厚生補導施設			
	㎡		㎡		㎡			
(6) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	200千円	200千円	図書購入費	5,000千円	5,000千円	5,000千円
		共同研究費等	2,000千円	2,000千円	設備購入費	10,000千円	0千円	0千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,750千円	1,550千円	1,550千円	1,550千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要			該当なし					

(注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)又は(その1の3)に準じて作成してください。

(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び

「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

・「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(8)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・高等専門学校については「(3)教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。

・国立大学については「(6)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	日本経済大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	4
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考		
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度				
経済学部	4	610	-	2,440	-	1.08	-	-	-	-			
経済学科	4	160	-	640	学士(経済学)	1.28	-	-	昭和43	福岡県太宰府市五ヶ3-11-25	令和3年度入学生より学生募集停止		
商学科	4	230	-	920	学士(経済学)	1.08	-	-	平成17	福岡県太宰府市五ヶ3-11-25			
経営法学科	4	-	-	-	学士(経済学)	-	-	-	平成19	福岡県太宰府市五ヶ3-11-25			
健康スポーツ経営学科	4	220	-	880	学士(健康スポーツ経営学)	0.90	-	-	平成24	同上			
経営学部	4	800	-	3,200	-	1.12	-	-	-	-			
経営学科	4	600	-	2,480	学士(経営学)	1.17	-	-	平成26	福岡県太宰府市五ヶ3-11-25 東京都渋谷区桜丘町24-5	令和6年度から入学定員変更(680→600)		
グローバルビジネス学科	4	40	-	160	学士(経営学)	1.24	-	-	平成30	福岡県太宰府市五ヶ3-11-25 東京都渋谷区桜丘町24-5			
芸術プロデュース学科	4	80	-	320	学士(経営学)	1.17	-	-	平成30	福岡県太宰府市五ヶ3-11-25 東京都渋谷区桜丘町24-5			
デジタルビジネス・マネジメント学科	4	80	-	240	学士(経営学)	0.40	-	-	令和6	東京都渋谷区桜丘町24-5			
大学全体	4	1,410	-	5,640	-	1.10	-	-	-	-			

大学の名称		〇〇短期大学							収容定員充足率0.7倍以下の学科数	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
〇〇学科	2	100	-	200	短期大学士(〇〇学)	0.57	-	-	令和8	〇〇県〇〇市〇〇〇〇〇...	
●●学科	3	80	-	240	短期大学士(●●学)	1.15	1.14	-	平成27	同上	
◇◇学科	2	60	-	120	短期大学士(◇◇学)	0.44	0.44	-	平成29	同上	
■■学科	2	50	-	100	短期大学士(■■学)	1.17	1.16	-	令和元	同上	
大学全体	2 3	210 80	-	660	-	-	-	-	-	-	

大学の名称		〇〇高等専門学校							収容定員充足率0.7倍以下の学科数	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
〇〇学科	5	100	-	500	準学士(〇〇)	0.63	-	-	令和5	〇〇県〇〇市〇〇〇〇〇...	
●●学科	5	200	-	1000	準学士(〇〇)	1.15	1.14	-	平成27	同上	
学校全体	5	300	-	1500	-	-	-	-	-	-	

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)

なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。

・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。

履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。

開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。

算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和9年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。

・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。

なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。

詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

<経営学部 デジタルビジネス・マネジメント学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】		【令和6年度】		【令和7年度】		【令和8年度】		【令和9年度】		
専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	教員区分	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	
その他	金谷 武明 (54) <令和8年4月> 修士(メディアデザイン学) グラフィックデザイン演習 デジタルコンテンツ演習 I A デジタルコンテンツ演習 I B デジタルコンテンツ演習 II A デジタルコンテンツ演習 II B データサイエンティスト演習 II A データサイエンティスト演習 II B	基(主専)	金谷 武明 (52) <令和6年4月> 修士(メディアデザイン学) グラフィックデザイン演習 デジタルコンテンツ演習 I A デジタルコンテンツ演習 I B デジタルコンテンツ演習 II A デジタルコンテンツ演習 II B データサイエンティスト演習 II A データサイエンティスト演習 II B S.D. SeminarA S.D. SeminarB	基(主専)	金谷 武明 (53) <令和6年4月> 修士(メディアデザイン学) デジタルコンテンツ演習 I A デジタルコンテンツ演習 I B デジタルコンテンツ演習 II A デジタルコンテンツ演習 II B データサイエンティスト演習 II A データサイエンティスト演習 II B S.D. SeminarA S.D. SeminarB 基礎ゼミA 基礎ゼミB デジタルプラットフォーム入門 DX(デジタル・トランスフォーメーション)概論 データサイエンティスト演習 I A データサイエンティスト演習 I B	基(主専)	金谷 武明 (54) <令和6年4月> 修士(メディアデザイン学) S.D. SeminarA S.D. SeminarB 基礎ゼミA 基礎ゼミB デジタルプラットフォーム入門 DX(デジタル・トランスフォーメーション)概論 データサイエンティスト演習 I A データサイエンティスト演習 I B			
基(主専)	江尻 俊章 (51) <令和6年4月> 学士(経済学) デジタルビジネス概論 デジタルビジネス・イノベーション概論 デジタルビジネス・マーケティング論 データマーケティング論 専門ゼミ II A 専門ゼミ II B 卒業研究	基(主専)	江尻 俊章 (51) <令和6年4月> 学士(経済学) デジタルビジネス・イノベーション概論 デジタルビジネス・マーケティング論 データマーケティング論 専門ゼミ II A 専門ゼミ II B 卒業研究 Webサイト作成A Webサイト作成B	基(主専)	江尻 俊章 (52) <令和6年4月> 学士(経済学) ベンチャービジネス概論 デジタルビジネス起業論 専門ゼミ I A 専門ゼミ I B 卒業研究 Webサイト作成A Webサイト作成B	基(主専)	江尻 俊章 (53) <令和6年4月> 学士(経済学) ベンチャービジネス概論 デジタルビジネス起業論 専門ゼミ II A 専門ゼミ II B 卒業研究 Webサイト作成A Webサイト作成B			
基(主専)	今仁 武臣 (51) <令和6年4月> 博士(システムエンジニアリング学) 経営学A 経営学B デジタルビジネス・マネジメント特講A デジタルビジネス・マネジメント特講B デジタルビジネス起業論	基(主専)	今仁 武臣 (51) <令和6年4月> 博士(システムエンジニアリング学) 経営学A 経営学B デジタルビジネス・マネジメント特講A デジタルビジネス・マネジメント特講B デジタルビジネス起業論	基(主専)	今仁 武臣 (52) <令和6年4月> 博士(システムエンジニアリング学) 経営学A 経営学B	基(主専)	今仁 武臣 (53) <令和6年4月> 博士(システムエンジニアリング学) 経営学A 経営学B			
基(主専)	新井 隆司 (48) <令和7年4月> 学士(発達科学) 基礎ゼミA 基礎ゼミB デジタルビジネス・財務会計論 プレゼンテーション演習	基(主専)	新井 隆司 (48) <令和7年4月> 学士(発達科学) 基礎ゼミA 基礎ゼミB デジタルビジネス・財務会計論 プレゼンテーション演習							
基(主専)	門田 進一郎 (48) <令和7年4月> 修士(工学) デジタルビジネス・AI論 デジタルコマース概論 空間情報学 専門ゼミ II A 専門ゼミ II B 卒業研究	基(主専)	門田 進一郎 (48) <令和7年4月> 修士(工学) デジタルビジネス・AI論 デジタルコマース概論 空間情報学 専門ゼミ II A 専門ゼミ II B 卒業研究							
基(主専)	寺岡 幸二 (49) <令和6年4月> 学士(マネジメント) S.D. SeminarA S.D. SeminarB デジタルビジネス・組織論 専門ゼミ I A 専門ゼミ I B UI/UX論 専門ゼミ I B UI/UX論	基(主専)	寺岡 幸二 (49) <令和6年4月> 学士(マネジメント) デジタルビジネス・組織論 専門ゼミ I A 専門ゼミ I B UI/UX論 情報リテラシー I (ビジネススキル) 情報リテラシー II (AI・データサイエンス) デジタルビジネス概論 デジタルサイエンス概論 デジタルサイエンス概論	基(主専)	寺岡 幸二 (50) <令和6年4月> 修士(経営管理) 専門ゼミ II A 専門ゼミ II B UI/UX論 情報リテラシー I (ビジネススキル) 情報リテラシー II (AI・データサイエンス) デジタルビジネス概論 デザインシンキング論 ビジネスフレームワーク演習 デジタルサイエンス概論 デジタルビジネス・マネジメント特講A デジタルビジネス・マネジメント特講B	基(主専)	寺岡 幸二 (51) <令和6年4月> 修士(経営管理) 専門ゼミ I A 専門ゼミ I B UI/UX論 情報リテラシー I (ビジネススキル) 情報リテラシー II (AI・データサイエンス) デジタルビジネス概論 デザインシンキング論 ビジネスフレームワーク演習 デジタルサイエンス概論 デジタルビジネス・マネジメント特講A デジタルビジネス・マネジメント特講B			
基(主専)	千野根 陵 (39) <令和6年4月> 修士(システムエンジニアリング学) 専門ゼミ I A 専門ゼミ I B 専門ゼミ II A 専門ゼミ II B	基(主専)	千野根 陵 (39) <令和6年4月> 修士(システムエンジニアリング学) 専門ゼミ I A 専門ゼミ I B 専門ゼミ II A 専門ゼミ II B	基(主専)	千野根 陵 (40) <令和6年4月> 修士(システムエンジニアリング学) 専門ゼミ I A 専門ゼミ I B 専門ゼミ II A 専門ゼミ II B	基(主専)	千野根 陵 (41) <令和6年4月> 修士(システムエンジニアリング学) 専門ゼミ I A 専門ゼミ I B 専門ゼミ II A 専門ゼミ II B			

	卒業研究		卒業研究		卒業研究 デジタルビジネス・イノベーション概論 マーケティング論A マーケティング論B		卒業研究 デジタルビジネス・イノベーション概論 マーケティング論A マーケティング論B					
基(専)	講師 裴 鍾民 (45) <令和6年4月> 修士(商学) プログラミングA プログラミングB ディープラーニングA ディープラーニングB データサイエンティスト演習IA データサイエンティスト演習IB	基(専)	講師 裴 鍾民 (45) <令和6年4月> 修士(商学) プログラミングA プログラミングB ディープラーニングA ディープラーニングB データサイエンティスト演習IA データサイエンティスト演習IB	基(主)	講師 馬場 建至 (46) <令和6年4月> 修士(経営学) 基礎ゼミA 基礎ゼミB 情報リテラシーI (ビジネススキル) 情報リテラシーII (AI・データサイエンス) デジタルコマース概論 デジタルビジネス・マーケティング論A デジタルビジネス・マーケティング論B データマーケティング論 スポーツ	基(主)	講師 馬場 建至 (47) <令和6年4月> 修士(経営学) 基礎ゼミA 基礎ゼミB 情報リテラシーI (ビジネススキル) 情報リテラシーII (AI・データサイエンス) デジタルコマース概論 デジタルビジネス・マーケティング論A デジタルビジネス・マーケティング論B データマーケティング論 スポーツ					
基(専)	教授 赤瀬 朋秀 (58) <令和6年4月> 博士(臨床薬学) 健康科学	基(専)	教授 赤瀬 朋秀 (58) <令和6年4月> 博士(臨床薬学) 健康科学	基(専)	教授 赤瀬 朋秀 (59) <令和6年4月> 博士(臨床薬学) 健康科学	基(専)	教授 赤瀬 朋秀 (60) <令和6年4月> 博士(臨床薬学) 健康科学					
基(専)	教授 李 君在 (52) <令和6年4月> 修士(商学) 韓国語IA 韓国語IB 韓国語IIA 韓国語IIB	基(専)	教授 李 君在 (52) <令和6年4月> 修士(商学) 韓国語IA 韓国語IB 韓国語IIA 韓国語IIB	基(専)	教授 李 君在 (53) <令和6年4月> 修士(商学) 韓国語IA 韓国語IB 韓国語IIA 韓国語IIB	基(専)	教授 李 君在 (54) <令和6年4月> 修士(商学) 韓国語IA 韓国語IB 韓国語IIA 韓国語IIB					
基(専)	教授 エリック ロマン (60) <令和6年4月> 経営学修士 フランス語IA フランス語IB フランス語IIA フランス語IIB 経営戦略論	基(専)	教授 エリック ロマン (60) <令和6年4月> 経営学修士 フランス語IA フランス語IB フランス語IIA フランス語IIB 経営戦略論	基(専)	教授 エリック ロマン (61) <令和6年4月> 経営学修士 フランス語IA フランス語IB フランス語IIA フランス語IIB 経営戦略論	基(専)	教授 エリック ロマン (62) <令和6年4月> 経営学修士 フランス語IA フランス語IB フランス語IIA フランス語IIB 経営戦略論					
基(専)	教授 金森 慶一 (64) <令和6年4月> 商学士 簿記入門 簿記初級	基(専)	教授 金森 慶一 (64) <令和6年4月> 商学士 簿記入門 簿記初級	基(専)	教授 金森 慶一 (65) <令和6年4月> 商学士 簿記入門 簿記初級	基(専)	教授 金森 慶一 (66) <令和6年4月> 商学士 簿記入門 簿記初級					
基(専)	教授 木下 義文 (63) <令和6年4月> 修士(国際情報) リーダーシップIA リーダーシップIB 経営組織論 リーダーシップIIA リーダーシップIIB	基(専)	教授 木下 義文 (63) <令和6年4月> 修士(国際情報) リーダーシップIA リーダーシップIB 経営組織論 リーダーシップIIA リーダーシップIIB	基(専)	教授 木下 義文 (64) <令和6年4月> 修士(国際情報) リーダーシップIA リーダーシップIB 経営組織論 リーダーシップIIA リーダーシップIIB	基(専)	教授 木下 義文 (66) <令和6年4月> 修士(国際情報) リーダーシップIA リーダーシップIB 経営組織論 リーダーシップIIA リーダーシップIIB					
基(専)	教授 金 在淑 (51) <令和6年4月> 博士(経済学) 韓国語IA 韓国語IB 韓国語IIA 韓国語IIB	基(専)	教授 金 在淑 (51) <令和6年4月> 博士(経済学) 韓国語IA 韓国語IB 韓国語IIA 韓国語IIB	基(専)	教授 金 在淑 (52) <令和6年4月> 博士(経済学) 韓国語IA 韓国語IB 韓国語IIA 韓国語IIB	基(専)	教授 金 在淑 (55) <令和6年4月> 博士(経済学) 韓国語IA 韓国語IB 韓国語IIA 韓国語IIB					
基(専)	教授 古賀 郁人 (58) <令和6年4月> 音声学博士(英国) ROSE (海外研修I) ROSE (海外研修II) ROSE (海外研修III)	基(専)	教授 古賀 郁人 (58) <令和6年4月> 音声学博士(英国) ROSE (海外研修I) ROSE (海外研修II) ROSE (海外研修III)	基(専)	教授 古賀 郁人 (59) <令和6年4月> 音声学博士(英国) ROSE (海外研修I) ROSE (海外研修II) ROSE (海外研修III)	基(専)	教授 古賀 郁人 (59) <令和6年4月> 音声学博士(英国) ROSE (海外研修I) ROSE (海外研修II) ROSE (海外研修III)					
基(専)	教授 鈴木 俊介 (57) <令和6年4月> 修士(文学) 社会学概論 ソーシャルメディアとコミュニケーション	基(専)	教授 鈴木 俊介 (57) <令和6年4月> 修士(文学) 社会学概論 ソーシャルメディアとコミュニケーション	基(専)	教授 鈴木 俊介 (58) <令和6年4月> 修士(文学) 社会学概論 ソーシャルメディアとコミュニケーション	基(専)	教授 鈴木 俊介 (59) <令和6年4月> 修士(文学) 社会学概論 ソーシャルメディアとコミュニケーション					
基(専)	教授 高橋 文行 (59) <令和6年4月> 博士(情報学) 情報処理論A 情報処理論B	基(専)	教授 高橋 文行 (59) <令和6年4月> 博士(情報学) 情報処理論A 情報処理論B	基(専)	教授 高橋 文行 (60) <令和6年4月> 博士(情報学) 情報処理論A 情報処理論B	基(専)	教授 高橋 文行 (61) <令和6年4月> 博士(情報学) 情報処理論A 情報処理論B					
	竹田津 知子 (54) <令和6年4月>		竹田津 知子 (54) <令和6年4月>		竹田津 知子 (55) <令和6年4月>		竹田津 知子 (56) <令和6年4月>					

基(専他)	教授	地域貢献 I 地域貢献 II	基(専他)	教授	地域貢献 I 地域貢献 II	基(専他)	教授	地域貢献 I 地域貢献 II	基(専他)	教授	地域貢献 I 地域貢献 II 就職基礎力演習 I A 就職基礎力演習 I B 就職基礎力演習 II A 就職基礎力演習 II B
基(専他)	教授	多田 稔 (62) <令和6年4月> 博士(経営学)	基(専他)	教授	多田 稔 (62) <令和6年4月> 博士(経営学)	基(専他)	教授		基(専他)	教授	
基(専他)	教授	経営学A 経営学B	基(専他)	教授	経営学A 経営学B	基(専他)	教授		基(専他)	教授	
基(専他)	教授	富村 洋一郎 (60) <令和6年4月> 学士(体育学)	基(専他)	教授	富村 洋一郎 (60) <令和6年4月> 学士(体育学)	基(専他)	教授		基(専他)	教授	
基(専他)	教授	スポーツ論	基(専他)	教授	スポーツ論	基(専他)	教授		基(専他)	教授	
基(専他)	教授	西村 尚純 (63) <令和6年4月> 修士(経営学)	基(専他)	教授	西村 尚純 (63) <令和6年4月> 修士(経営学)	基(専他)	教授	西村 尚純 (64) <令和6年4月> 修士(経営学)	基(専他)	教授	
基(専他)	教授	キャリアデザインII A キャリアデザインII B	基(専他)	教授	キャリアデザインII A キャリアデザインII B	基(専他)	教授	キャリアデザインII A キャリアデザインII B	基(専他)	教授	
基(専他)	教授	福島 綾一 (51) <令和6年4月> 修士(工学)	基(専他)	教授	福島 綾一 (51) <令和6年4月> 修士(工学)	基(専他)	教授	福島 綾一 (52) <令和6年4月> 修士(工学)	基(専他)	教授	福島 綾一 (53) <令和6年4月> 修士(工学)
基(専他)	教授	情報セキュリティ ビッグデータ分析A ビッグデータ分析B	基(専他)	教授	情報セキュリティ ビッグデータ分析A ビッグデータ分析B 情報リテラシー I (ビジネススキル) 情報リテラシー II (AI・データサイエンス) 情報リテラシー III (コンテンツ基礎) 情報リテラシー IV (コンテンツ応用)	基(専他)	教授	情報セキュリティ ビッグデータ分析A ビッグデータ分析B 情報リテラシー I (ビジネススキル) 情報リテラシー II (AI・データサイエンス) 情報リテラシー III (コンテンツ基礎) 情報リテラシー IV (コンテンツ応用)	基(専他)	教授	情報セキュリティ ビッグデータ分析A ビッグデータ分析B 情報リテラシー I (ビジネススキル) 情報リテラシー II (AI・データサイエンス) 情報リテラシー III (コンテンツ基礎) 情報リテラシー IV (コンテンツ応用)
基(専他)	教授	森下 あや子 (58) <令和6年4月> 博士(工学)	基(専他)	教授	森下 あや子 (58) <令和6年4月> 博士(工学)	基(専他)	教授	森下 あや子 (59) <令和6年4月> 博士(工学)	基(専他)	教授	森下 あや子 (60) <令和6年4月> 博士(工学)
基(専他)	教授	文系のための数学	基(専他)	教授	文系のための数学	基(専他)	教授	文系のための数学	基(専他)	教授	文系のための数学
基(専他)	准教授	金 セイ (43) <令和6年4月> 修士(法学)	基(専他)	准教授	金 セイ (43) <令和6年4月> 修士(法学)	基(専他)	准教授	金 セイ (44) <令和6年4月> 修士(法学)	基(専他)	准教授	金 セイ (45) <令和6年4月> 修士(法学)
基(専他)	准教授	くらしと法 日本国憲法	基(専他)	准教授	くらしと法 日本国憲法	基(専他)	准教授	くらしと法 日本国憲法	基(専他)	准教授	くらしと法 日本国憲法
基(専他)	准教授	ゴークレ ヘマンギ (40) <令和6年4月> 修士(金融) アメリカ	基(専他)	准教授	ゴークレ ヘマンギ (40) <令和6年4月> 修士(金融) アメリカ	基(専他)	准教授	ゴークレ ヘマンギ (40) <令和6年4月> 修士(金融) アメリカ	基(専他)	准教授	ゴークレ ヘマンギ (41) <令和6年4月> 修士(金融) アメリカ
基(専他)	准教授	ビジネスイングリッシュ I A ビジネスイングリッシュ I B ビジネスイングリッシュ II A ビジネスイングリッシュ II B	基(専他)	准教授	ビジネスイングリッシュ I A ビジネスイングリッシュ I B ビジネスイングリッシュ II A ビジネスイングリッシュ II B	基(専他)	准教授	ビジネスイングリッシュ I A ビジネスイングリッシュ I B ビジネスイングリッシュ II A ビジネスイングリッシュ II B	基(専他)	准教授	ビジネスイングリッシュ I A ビジネスイングリッシュ I B ビジネスイングリッシュ II A ビジネスイングリッシュ II B
基(専他)	准教授	徐 雪青 (48) <令和6年4月> 博士(比較文化)	基(専他)	准教授	徐 雪青 (48) <令和6年4月> 博士(比較文化)	基(専他)	准教授		基(専他)	准教授	
基(専他)	准教授	英語 II A 英語 II B 中国語 II A 中国語 II B	基(専他)	准教授	英語 II A 英語 II B 中国語 II A 中国語 II B	基(専他)	准教授		基(専他)	准教授	
基(専他)	准教授	辻本 政雄 (54) <令和6年4月> 博士(商学)	基(専他)	准教授		基(専他)	准教授		基(専他)	准教授	
基(専他)	准教授	環境と社会生活 経済学A 経済学B	基(専他)	准教授		基(専他)	准教授		基(専他)	准教授	
基(専他)	准教授	増田 昌幸 (56) <令和6年4月> 博士(学術)	基(専他)	准教授	増田 昌幸 (56) <令和6年4月> 博士(学術)	基(専他)	准教授		基(専他)	准教授	
基(専他)	准教授	スポーツ 人的資源管理論 知的財産管理論	基(専他)	准教授	スポーツ 人的資源管理論	基(専他)	准教授		基(専他)	准教授	
基(専他)	准教授	望月 洋祐 (43) <令和6年4月> 修士(教育学)	基(専他)	准教授		基(専他)	准教授		基(専他)	准教授	
基(専他)	准教授	数学でよみとくビジネス	基(専他)	准教授		基(専他)	准教授		基(専他)	准教授	
基(専他)	准教授	山下 誠矢 (39) <令和6年4月> 修士(経営学)	基(専他)	准教授	山下 誠矢 (39) <令和6年4月> 修士(経営学)	基(専他)	准教授	山下 誠矢 (40) <令和6年4月> 修士(経営学)	基(専他)	准教授	山下 誠矢 (41) <令和6年4月> 修士(経営学)
基(専他)	准教授	ビジネスライティング(文章表現)	基(専他)	准教授	ビジネスライティング(文章表現)	基(専他)	准教授	ビジネスライティング(文章表現)	基(専他)	准教授	ビジネスライティング(文章表現)
基(専他)	講師	鎌田 雅子 (44) <令和6年4月> 修士(大学経営)	基(専他)	講師	鎌田 雅子 (44) <令和6年4月> 修士(大学経営)	基(専他)	講師	鎌田 雅子 (45) <令和6年4月> 修士(大学経営)	基(専他)	講師	鎌田 雅子 (45) <令和6年4月> 修士(大学経営)
基(専他)	講師	インターンシップ インターンシップ(実習) キャリアデザイン III A キャリアデザイン III B	基(専他)	講師	インターンシップ インターンシップ(実習) キャリアデザイン III A キャリアデザイン III B	基(専他)	講師	インターンシップ インターンシップ(実習) キャリアデザイン III A キャリアデザイン III B	基(専他)	講師	インターンシップ インターンシップ(実習) キャリアデザイン III A キャリアデザイン III B
基(専他)	講師	マクリーン ニカラス (43) <令和6年4月>	基(専他)	講師	マクリーン ニカラス (43) <令和6年4月>	基(専他)	講師	マクリーン ニカラス (44) <令和6年4月>	基(専他)	講師	マクリーン ニカラス (45) <令和6年4月>

基(専他)	講師	学士(カナダ史)カナダ 英語ⅢA 英語ⅢB 英語ⅣA 英語ⅣB	基(専他)	講師	学士(カナダ史)カナダ 英語ⅢA 英語ⅢB 英語ⅣA 英語ⅣB	基(専他)	講師	学士(カナダ史)カナダ 英語ⅢA 英語ⅢB 英語ⅣA 英語ⅣB	基(専他)	講師	学士(カナダ史)カナダ 英語ⅢA 英語ⅢB 英語ⅣA 英語ⅣB				
基(専他)	助教	海業 (39) <令和6年4月> 修士(経営学) 情報リテラシーⅠ(ビジネススキル) 情報リテラシーⅡ(AI・データサイエンス) 情報リテラシーⅢ(コンテンツ基礎) 情報リテラシーⅣ(コンテンツ応用)													
その他	准教授	落合 康裕 (51) <令和6年4月> 経営学博士 経営管理論A 経営管理論B	その他	准教授	落合 康裕 (51) <令和6年4月> 経営学博士 経営管理論A 経営管理論B	その他	准教授	落合 康裕 (52) <令和6年4月> 経営学博士 経営管理論A 経営管理論B	その他	准教授	落合 康裕 (53) <令和6年4月> 経営学博士 経営管理論A 経営管理論B				
その他	講師	天野 雅貴 (68) <令和6年4月> 農学博士 動植物の体のしくみ													
その他	講師	岩成 祐樹 (37) <令和7年4月> 修士(通信システム工学) ソフトウェアプログラミング論	その他	講師	岩成 祐樹 (37) <令和7年4月> 修士(通信システム工学) ソフトウェアプログラミング論										
その他	講師	海上 知明 (64) <令和6年4月> 博士(経済学) 日本史Ⅰ 日本史Ⅱ	その他	講師	海上 知明 (64) <令和6年4月> 博士(経済学) 日本史Ⅰ 日本史Ⅱ 環境と社会生活	その他	講師	海上 知明 (65) <令和6年4月> 博士(経済学) 日本史Ⅰ 日本史Ⅱ 環境と社会生活	その他	講師	海上 知明 (66) <令和6年4月> 博士(経済学) 日本史Ⅰ 日本史Ⅱ 環境と社会生活				
その他	講師	神野 智久 (38) <令和6年4月> 博士(言語文化学) 中国語ⅠA 中国語ⅠB	その他	講師	神野 智久 (38) <令和6年4月> 博士(言語文化学) 中国語ⅠA 中国語ⅠB	その他	講師	神野 智久 (39) <令和6年4月> 博士(言語文化学) 中国語ⅠA 中国語ⅠB 中国語ⅡA 中国語ⅡB	その他	講師	神野 智久 (40) <令和6年4月> 博士(言語文化学) 中国語ⅠA 中国語ⅠB 中国語ⅡA 中国語ⅡB				
その他	講師	カルロス アルバロベルテリ (41) <令和6年4月> 修士(言語学) スペイン語ⅠA スペイン語ⅠB スペイン語ⅡA スペイン語ⅡB													
その他	講師	川上 恭子 (65) <令和6年4月> 学士(経営情報学) Webサイト作成A Webサイト作成B	その他	講師	川上 恭子 (65) <令和6年4月> 学士(経営情報学) Webサイト作成A Webサイト作成B 情報リテラシーⅢ(コンテンツ基礎) 情報リテラシーⅣ(コンテンツ応用)	その他	講師	川上 恭子 (66) <令和6年4月> 学士(経営情報学) Webサイト作成A Webサイト作成B 情報リテラシーⅢ(コンテンツ基礎) 情報リテラシーⅣ(コンテンツ応用)	その他	講師	川上 恭子 (67) <令和6年4月> 学士(経営情報学) Webサイト作成A Webサイト作成B 情報リテラシーⅢ(コンテンツ基礎) 情報リテラシーⅣ(コンテンツ応用)				
その他	講師	佐藤 一明 (81) <令和6年4月> 法学士 政治学Ⅰ 政治学Ⅱ													
その他	講師	輪屋 泰隆 (48) <令和7年4月> 修士(経営管理) デザインシンキング論	その他	講師	輪屋 泰隆 (48) <令和7年4月> 修士(経営管理) デザインシンキング論										
その他	講師	宗宮 邦裕 (71) <令和6年4月> 修士(教育学) 西洋史Ⅰ 西洋史Ⅱ 東洋史Ⅰ 東洋史Ⅱ	その他	講師	宗宮 邦裕 (71) <令和6年4月> 修士(教育学) 西洋史Ⅰ 西洋史Ⅱ 東洋史Ⅰ 東洋史Ⅱ	その他	講師	宗宮 邦裕 (72) <令和6年4月> 修士(教育学) 西洋史Ⅰ 西洋史Ⅱ 東洋史Ⅰ 東洋史Ⅱ	その他	講師	宗宮 邦裕 (73) <令和6年4月> 修士(教育学) 西洋史Ⅰ 西洋史Ⅱ 東洋史Ⅰ 東洋史Ⅱ				
その他	講師	滝本 祥子 (51) <令和6年4月> 修士(教育学) 心のしくみと行動の科学	その他	講師	滝本 祥子 (51) <令和6年4月> 修士(教育学) 心のしくみと行動の科学	その他	講師	滝本 祥子 (52) <令和6年4月> 修士(教育学) 心のしくみと行動の科学	その他	講師	滝本 祥子 (53) <令和6年4月> 修士(教育学) 心のしくみと行動の科学				
その他	講師	タンコヴィッチ ユリア (32) <令和6年4月> 修士(哲学)ロシア ロシア語ⅠA ロシア語ⅠB ロシア語ⅡA ロシア語ⅡB	その他	講師	タンコヴィッチ ユリア (32) <令和6年4月> 修士(哲学)ロシア ロシア語ⅠA ロシア語ⅠB ロシア語ⅡA ロシア語ⅡB	その他	講師	タンコヴィッチ ユリア (33) <令和6年4月> 修士(哲学)ロシア ロシア語ⅠA ロシア語ⅠB ロシア語ⅡA ロシア語ⅡB	その他	講師	タンコヴィッチ ユリア (34) <令和6年4月> 修士(哲学)ロシア ロシア語ⅠA ロシア語ⅠB ロシア語ⅡA ロシア語ⅡB				
		曹 恩美 (53) <令和6年4月> 博士(学術)			曹 恩美 (53) <令和6年4月> 博士(学術)			曹 恩美 (54) <令和6年4月> 博士(学術)			曹 恩美 (55) <令和6年4月> 博士(学術)				

その他	講師	文学をよむ文化を知る	その他	講師	文学をよむ文化を知る 韓国語 I A 韓国語 I B 韓国語 II A 韓国語 II B	その他	講師	文学をよむ文化を知る 韓国語 I A 韓国語 I B 韓国語 II A 韓国語 II B	その他	講師	文学をよむ文化を知る 韓国語 I A 韓国語 I B 韓国語 II A 韓国語 II B			
その他	講師	出川 清一 (73) <令和6年4月> 教育学士	その他	講師	出川 清一 (73) <令和6年4月> 教育学士	その他	講師	出川 清一 (74) <令和6年4月> 教育学士	その他	講師	出川 清一 (75) <令和6年4月> 教育学士			
		地理学 I 地理学 II			地理学 I 地理学 II			地理学 I 地理学 II			地理学 I 地理学 II			
その他	講師	西 紘永 (29) <令和7年4月> 学士(文化情報)	その他	講師	西 紘永 (29) <令和6年4月> 学士(文化情報)	その他	講師							
		テキストマイニング論			テキストマイニング論									
その他	講師	野口 智代 (58) <令和6年4月> 学士(教育学)	その他	講師	野口 智代 (58) <令和6年4月> 学士(教育学)	その他	講師	野口 智代 (59) <令和6年4月> 学士(教育学)	その他	講師	野口 智代 (60) <令和6年4月> 学士(教育学)			
		英語 I A 英語 I B			英語 I A 英語 I B			英語 I A 英語 I B			英語 I A 英語 I B			
その他	講師	廣瀬 涼 (33) <令和7年4月> 修士(商学)	その他	講師	廣瀬 涼 (33) <令和7年4月> 修士(商学)	その他	講師							
		マーケティング論A マーケティング論B			マーケティング論A マーケティング論B									
その他	講師	三笠 康平 (37) <令和6年4月> 博士(経済学)	その他	講師	三笠 康平 (37) <令和6年4月> 博士(経済学)	その他	講師							
		ベンチャービジネス概論			ベンチャービジネス概論									
その他	講師	森田 光 (58) <令和6年4月> 学士(経済学)	その他	講師	森田 光 (58) <令和6年4月> 学士(経済学)	その他	講師	森田 光 (59) <令和6年4月> 学士(経済学)	その他	講師	森田 光 (60) <令和6年4月> 学士(経済学)			
		キャリアデザイン I A キャリアデザイン I B			キャリアデザイン I A キャリアデザイン I B			キャリアデザイン I A キャリアデザイン I B			キャリアデザイン I A キャリアデザイン I B			
その他	講師	續 訓美 (65) <令和6年4月> 文学士												
		哲学 I 哲学 II 倫理学 I 倫理学 II ドイツ語 I A ドイツ語 I B ドイツ語 II A ドイツ語 II B												
その他	講師	米田 祐介 (44) <令和6年4月> 博士(文学)	その他	講師	米田 祐介 (44) <令和6年4月> 博士(文学)	その他	講師	米田 祐介 (44) <令和6年4月> 博士(文学)	その他	講師	米田 祐介 (44) <令和6年4月> 博士(文学)			
		哲学 I 哲学 II 倫理学 I 倫理学 II			哲学 I 哲学 II 倫理学 I 倫理学 II			哲学 I 哲学 II 倫理学 I 倫理学 II			哲学 I 哲学 II 倫理学 I 倫理学 II			
その他	講師	松本 尚子 (38) <令和6年4月> 修士(欧州研究)	その他	講師	松本 尚子 (38) <令和6年4月> 修士(欧州研究)	その他	講師	松本 尚子 (38) <令和6年4月> 修士(欧州研究)	その他	講師	松本 尚子 (38) <令和6年4月> 修士(欧州研究)			
		ドイツ語 I A ドイツ語 I B ドイツ語 II A ドイツ語 II B 政治学 I 政治学 II			ドイツ語 I A ドイツ語 I B ドイツ語 II A ドイツ語 II B 政治学 I 政治学 II			ドイツ語 I A ドイツ語 I B ドイツ語 II A ドイツ語 II B 政治学 I 政治学 II			ドイツ語 I A ドイツ語 I B ドイツ語 II A ドイツ語 II B 政治学 I 政治学 II			
基(専他)	講師	押久保 政彦 (52) <令和8年4月> 博士(技術継承)	基(専他)	講師	押久保 政彦 (52) <令和8年4月> 博士(技術継承)	基(専他)	講師	押久保 政彦 (52) <令和8年4月> 博士(技術継承)	基(専他)	講師	押久保 政彦 (52) <令和8年4月> 博士(技術継承)			
		知的財産管理			知的財産管理			知的財産管理			知的財産管理			
その他	講師	小林 和馬 (46) <令和6年4月> 博士(経済学)	その他	講師	小林 和馬 (46) <令和6年4月> 博士(経済学)	その他	講師	小林 和馬 (46) <令和6年4月> 博士(経済学)	その他	講師	小林 和馬 (46) <令和6年4月> 博士(経済学)			
		経済学A 経済学B			経済学A 経済学B			経済学A 経済学B			経済学A 経済学B			
その他	講師	ペロニカ リエスコ エルナン デス (44) <令和6年4月> BLE修士 スペイン	その他	講師	ペロニカ リエスコ エルナン デス (44) <令和6年4月> BLE修士 スペイン	その他	講師	ペロニカ リエスコ エルナン デス (44) <令和6年4月> BLE修士 スペイン	その他	講師	ペロニカ リエスコ エルナン デス (44) <令和6年4月> BLE修士 スペイン			
		スペイン語 I A スペイン語 I B スペイン語 II A スペイン語 II B			スペイン語 I A スペイン語 I B スペイン語 II A スペイン語 II B			スペイン語 I A スペイン語 I B スペイン語 II A スペイン語 II B			スペイン語 I A スペイン語 I B スペイン語 II A スペイン語 II B			
その他	講師	山本 純子 (43) <令和6年4月> 実務教育学士(専門職)	その他	講師	山本 純子 (43) <令和6年4月> 実務教育学士(専門職)	その他	講師	山本 純子 (43) <令和6年4月> 実務教育学士(専門職)	その他	講師	山本 純子 (43) <令和6年4月> 実務教育学士(専門職)			
		数学でよみとくビジネス			数学でよみとくビジネス			数学でよみとくビジネス			数学でよみとくビジネス			
その他	講師	勝部 秀之 (65) <令和8年4月> 学士(理学)												
		動植物の体のしくみ												
					荒木 貴之 (66)			荒木 貴之 (66)			荒木 貴之 (66)			

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・令和6年4月に金谷武明教授が就任のため、「S. D. SeminarA」、「S. D. SeminarB」を担当。
- ・令和6年4月に押久保政彦講師が就任のため、「知的財産管理」を担当。
- ・辻本政雄准教授辞任のため、「経済学A」、「経済学B」を小林和馬講師へ、「環境と社会生活」を海上知明講師に変更。
- ・望月洋佑准教授辞任のため、「数学でよみとくビジネス」を山本絢子講師へ変更。
- ・海棠助教辞任のため、「情報リテラシーI (ビジネススキル)」、「情報リテラシーII (AI・データサイエンス)」を寺岡幸二准教授と馬場建至講師に変更し、「情報リテラシーI (ビジネススキル)」、「情報リテラシーII (AI・データサイエンス)」「情報リテラシーIII (コンテンツ基礎)」、「情報リテラシーIV (コンテンツ応用)」を福島綾一教授に変更。
- ・天野雅貴講師辞任により、「動植物の体のしくみ」を跡部秀之講師に変更。
- ・カルロスアルバロベルテリ講師辞任により、「スペイン語IA」、「スペイン語IB」、「スペイン語IIA」、「スペイン語IIB」をペロニカリエスコエルナンデス講師に変更。
- ・佐藤一明講師辞任により、「政治学I」、「政治学II」を松本尚子講師に変更。
- ・横訓美教授辞任により、「哲学I」、「哲学II」、「倫理学I」、「倫理学II」を米田祐介講師に、「ドイツ語IA」、「ドイツ語IB」、「ドイツ語IIA」、「ドイツ語IIB」を松本尚子講師に変更。
- ・時間割編成上の理由により、江尻俊章教授が「Webサイト作成A」、「Webサイト作成B」を担当。
- ・時間割編成上の理由により、寺岡幸二准教授が「デジタルビジネス概論」を担当。
- ・時間割編成上の理由により、川上恭子講師が「情報リテラシーIII (コンテンツ基礎)」、「情報リテラシーIV (コンテンツ応用)」を担当。

【令和7年度】

- ・カリキュラム編成上の理由により「デジタルプラットフォーム入門」、「DX (デジタル・トランスフォーメーション)」を追加し金谷武明教授が担当。
 - ・時間割編成上の理由により「基礎ゼミA」、「基礎ゼミB」、「データサイエンティスト演習IA」、「データサイエンティスト演習IB」を金谷武明教授が担当。
 - ・時間割編成上の理由により「ベンチャービジネス概論」「デジタルビジネス起業論」を江尻俊章教授が担当。
 - ・カリキュラム編成上の理由により「デジタルビジネス・組織論」を廃止し、同学科の経営組織論に統合。
 - ・時間割編成上の理由により「ビジネスフレームワーク演習」、「デジタルサイエンス概論」、「デジタルビジネス・マネジメント特講A」、「デジタルビジネス・マネジメント特講B」を寺岡幸二准教授が担当。
 - ・時間割編成上の理由により「デジタルビジネス・イノベーション概論」、「マーケティング論A」、「マーケティング論B」を千野根陵講師が担当。
 - ・カリキュラム編成上の理由により「デジタルビジネス・マーケティング論」を廃止し、教育の質向上のため春学期にA、秋学期にBとし、通年科目として配置し、馬場建至講師が担当。
 - ・時間割編成上の理由により「デジタルビジネス・マーケティング論A」、「デジタルビジネス・マーケティング論B」、「データマーケティング論」、「デジタルコマース概論」、「スポーツ」を馬場建至講師が担当。
 - ・時間割編成上の理由により「中国語IIA」、「中国語IIB」を神野智久講師が担当。
 - ・令和7年4月に荒木貴之教授が就任のため「人的資源管理論」、「動植物の体のしくみ」を担当。
 - ・校務運営上の理由により「英語IIA」、「英語IIB」をクンデベンジャミンウイリアム講師が担当。
 - ・時間割編成上の理由により「グラフィックデザイン演習」を竹中綾子講師が担当。
 - ・校務運営上の理由により「ソフトウェアプログラミング論」を東海林大嗣講師が担当。
 - ・校務運営上の理由により「ディープラーニングA」、「ディープラーニングB」を明関賢太郎講師が担当。
 - ・校務運営上の理由により「プログラミングA」、「プログラミングB」を白男川恵講師が担当。
 - ・カリキュラム編成上の理由により「デジタルビジネス・AI論」を廃止し、教育の質向上のため春学期にA、秋学期にBとし、通年科目として配置し、米谷仁美講師が担当。
 - ・時間割編成上の理由により「スポーツ論」を門脇正法講師が担当。
 - ・新井隆司教授は、令和7年4月に本学との採用に係る合意に至っていたものの、前年12月に健康上の事情により、やむを得ず本学への着任を辞退担当予定であったデジタルビジネス財務会計論は経営学科に配置している財務会計論も受講可能なため、デジタルビジネス・マネジメント学科在籍学生は経営学科の他学科受講で代替とする体制に変更した。
 - ・門田進一郎教授は、令和7年4月に本学との採用に係る合意に至っていたものの、同年1月に配偶者の健康上の理由により、やむを得ず本学への着任を辞退担当予定であったデジタルコマース概論は、馬場建至講師が1年次に引き続き担当することとした。
- このため、当該教員の未着任によって学生に対する教育提供に支障は生じておらず、今後も適切な教育体制を維持することとする。

【令和8年度】

- ・カリキュラム編成上の理由により「美術史」を追加し木村映美講師が担当。
- ・カリキュラム編成上の理由により「基礎からの数学 (入門)」「基礎からの数学 (基礎)」を追加し呉春尚講師が担当。
- ・カリキュラム編成上の理由により「ワンヘルス入門」を追加しデジレロイバルテレミ講師が担当。
- ・カリキュラム編成上の理由により「現代サイエンス入門」を追加し荒木貴之教授が担当。
- ・カリキュラム編成上の理由により「就職基礎力演習IA」「就職基礎力演習IB」「就職基礎力演習IIA」「就職基礎力演習IIB」を追加し竹田津知子教授が担当。
- ・カリキュラム編成上の理由により「生成AIリテラシー (入門)」「生成AIリテラシー (基礎)」を追加し金谷武明教授が担当。
- ・時間割編成上の理由により「プレゼンテーション演習」を水谷嘉仁講師が担当。
- ・時間割編成上の理由により「データサイエンティスト演習IA」「データサイエンティスト演習IB」「データサイエンティスト演習IIA」「データサイエンティスト演習IIB」をドウラゴ英理花講師が担当。
- ・時間割編成上の理由により「デジタルコンテンツ演習IA」「デジタルコンテンツ演習IB」を明関賢太郎講師が担当。
- ・時間割編成上の理由により「知的財産管理」を押久保政彦が担当。
- ・カリキュラム編成上の理由により「デジタルビジネス・AI論A」を「生成AI入門A」、「デジタルビジネス・AI論B」を「生成AI入門B」に名称変更。
- ・カリキュラム編成上の理由により「生成AI演習A」「生成AI演習B」を追加し金谷武明教授が担当。
- ・カリキュラム編成上の理由により「生成AIビジネス応用論A」「生成AIビジネス応用論B」を追加し金谷武明教授が担当。

【令和9年度】

-

(注) 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ **認可で設置された学部等の基幹 (専任) 教員を変更する場合は**、当該基幹 (専任) 教員が授業を開始する前に必ず基幹 (専任) 教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査 (A C 教員審査) を受けてください。

原則として A C 教員審査を受けずに基幹 (専任) 教員として授業等を担当することは出来ません。

なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、A C 教員審査を受審する必要はない扱いとしています。(改正後大学設置基準等の適用にあたり、「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、A C 教員審査の受審を求めている事由が発生する場合は、A C 教員審査を受審する必要があります。)

- ・ A C 教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

- ・ 不要な年度 (令和7年度開設であれば令和6年度以前) の表は適宜削除してください。

(2) 基幹教員数等

(注) 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の基幹教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2)-② 基幹教員数等【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数 (α)	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教員研究に従事する必要基幹教員数 (α) の4分の3以上)
8	4	6
名	名	名

(注) 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。
 ・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 基幹教員数等【大学・高専】

設置時の計画							現在（報告時）の状況						
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	うち専ら当該学部等の教員研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	うち専ら当該学部等の教員研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）	助手 (B')
4	1	3	0	8	8	0	3	1	4	0	8	6	0
(2)	(3)	(3)	(0)	(8)	(8)	(0)							
現在（報告時）の完成年度時の状況							現在（報告時）の完成年度時の計画						
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	うち専ら当該学部等の教員研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	うち専ら当該学部等の教員研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）	助手 (D')
4	1	3	0	8	8	0	4	1	3	0	8	8	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注)「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」として記入してください。
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準（令和4年10月1日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画（改正前大学設置基準等）」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。
 また、「計（A）」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」欄には「-」を記入してください。
 ・「現在（報告時）」の状況には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
●●	●●	●●
歳	名	名

(注)「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて基幹教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて基幹教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況 (C)}}{\text{設置時の計画 (A)}} = \frac{8}{8} = 100\%$$

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況 (C')}}{\text{設置時の計画 (A')}} = \frac{8}{8} = 100\%$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況 (B)}} = \frac{0}{8} = -\%$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況 (C')}}{\text{設置時の計画 (A')}} = \frac{0}{0} = -\%$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹(専任)教員辞任等の理由

(3)-① 基幹(専任)教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹(専任)教員氏名	時期	必修・選択・自由科目	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退(未就任)の理由						
1	教授	新井 隆司		必修	基礎ゼミA	金谷武明	健康上の理由で辞退						
				必修	基礎ゼミB	金谷武明							
2	教授	門田 進一郎		選択	デジタルビジネス-AI論A	米谷 仁美	一身上の都合により辞退						
				選択	デジタルビジネス-AI論B	米谷 仁美							
				選択	デジタルコマース概論	馬場 建至							
合計(D)					後任補充状況の集計(E)								
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)			①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)						
2	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	3	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	5	科目	計	5	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注) 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹(専任)教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

- ・「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定しながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3)-②基幹(専任)教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹(専任)教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹(専任)教員が担当する(している)場合は「①」
- ・基幹(専任)教員以外の教員(兼任兼担教員)が担当する(している)場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)-② 基幹(専任)教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹(専任)教員氏名	時期	必修・選択・自由科目	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
合計(F)					後任補充状況の集計(G)								
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)			①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)						
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注) 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹(専任)教員**について、記入してください。

- (学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹(専任)教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹(専任)教員が担当する(している)場合は「①」
- ・基幹(専任)教員以外の教員(兼任兼担教員)が担当する(している)場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)-③ 上記(3)-①・(3)-②の合計

合計(D)+(F)		後任補充状況の集計(E)+(G)										
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a)+(b)+(c)	①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)								
2	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	3	科目	選択	3	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	5	科目	計	5	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3)-④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{2}{8} = 25\%$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3)-⑤ 令和7年度報告書から、新たに辞任等した基幹(専任)教員等の状況

0 人

(注)・(3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。
・令和8年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人		必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注)・定年により退職した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「大学の所見」 後任者の補充を行い、学生への影響が出ないように対応した。</p> <p>「学生への周知方法」 履修登録（時間割策定）前に対応が完了しており、特に混乱はない。</p>

- (注)・上記（3）の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画
設置計画履行状況 調査結果 (令和6年度)	○教育内容の充実等を通じ、収容定員未充足の改善に努めること。(経営学部デジタルビジネス・マネジメント学科) 【A C】指 摘事項 (改善)	令和6年度の入学者は13名(入学定員充足率0.16倍)であったが、令和7年度は入学者39名(入学定員充足率0.48倍)と、定員充足には及ばなかったが入学者数は増加する傾向である。この背景として、昨年度の反省を踏まえ、デジタルビジネス・マネジメント学科に特化した特別オープンキャンパスの開催、高等学校訪問日程の追加、WEBを活用した広報の充実など、対面、オンライン問わず、ありとあらゆる媒体を通じてデジタルビジネスに関心を持つ生徒・学校を対象に重点指向した結果によるものと考えている。令和8年度は定員充足を目指し、さらなる対策を講じて臨む予定である。	履行済
設置計画履行状況 調査結果 (令和7年度)	「経営学部デジタルビジネス・マネジメント学科」 ○収容定員充足率が0.30倍と著しく低い。教育内容の更なる充実を図りつつ、提示された学生確保に向けた取組等を確実に実施するとともに、より効果的な改善策を新たに講じる等、収容定員の更なる充足に努めること。また、速やかに長期的な学生確保の見通しを客観的根拠に基づき分析した上で、適切な収容定員の見直しを検討すること。 【A C】指 摘事項 (是 正)	令和8年度の入学者は46名(入学定員充足率0.57倍)となり、入学定員80名の充足には至らなかった。ただし、令和6年度13名(充足率0.16倍)、令和7年度39名(充足率0.48倍)と比較し、入学者数は3年連続で増加傾向を維持している。要因として、高校教員も対象とした説明会の開催や、Webサイトおよび高校訪問ツールの刷新など、デジタルビジネス領域に関心を持つ生徒・高校への訴求強化があると認識している。一方、課題として、留学生の出願に比して日本人受験生の出願が伸び悩んだこと、および合格者の入学辞退率が令和7年度15%から令和8年度29%へと上昇したことが挙げられる。 これらを踏まえ、令和8年度は学部長および学科長が責任を持って以下の5点を実行し、令和9年度入学者の定員充足を目指す。 1) 収容定員の適正化 ：デジタル×ビジネス領域に関心を持つ受験生層の規模や、より進む少子化も踏まえ、現行の収容定員は過大であると判断した。入学定員を80名から60名へ、収容定員を320名から240名へ変更する方向で収容定員変更届出を行う予定である。少人数制による教育の質的向上により出願率強化を図る。 2) 学科名称の変更 ：AIやデジタル技術を活用しビジネスを推進する人材の育成を目的とした学科であることをより明確に伝えるため、学科名称変更を事前相談済みである。これにより、学科理解の促進を図る。 3) 高大連携の強化 ：DXハイスクール採択校を重点連携校とし、本学科教員による出張講義・探究学習支援等を継続的に提供することで、本学科理解の促進と、入学辞退率低減を図る。 4) 模擬授業の強化 ：オープンキャンパスにおける本学科教員の模擬講義を実施し、教育内容の体験機会を増やす。教員との接点を通じて信頼感を醸成し、入学辞退率の低減を目指す。 5) Web集客の強化 ：福岡キャンパスと合同で実施してきたWebマーケティングを、東京渋谷キャンパス独自の体制として強化する。受験生の属性分析も強化し、首都圏市場に即した集客施策に反映させる。	履行中

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。
【令和7年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和7年度報告書の記載内容を転記し文末に「（7）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（8）」と記載してください。
【令和7年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和7年度報告書の記載内容を転記し文末に「（7）（8）」と記載してください。
【令和8年度から新たに調査対象となった学科等又は令和7年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（8）」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<経営学部 デジタルビジネス・マネジメント学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 124単位 必修科目22単位、選択科目102単位 ② 施設・設備 PC 4台追加	① 実践的かつビジネスに即したスキルを身につけるための 選択科目（1科目2単位）を追加。 ※（1）－① 授業科目表 ② 学生の修学環境を改善するため、PCを4台追加、 図書は169冊を整理、電子書籍を26冊増書した。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 FD・SD委員会 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 必要に応じて開催。構成員：教員8名、職員2名 c 委員会の審議事項等 ・FD・SD推進のための企画及び実施に関すること。 ・FD・SDに関する報告書等の作成に関すること。 ・FD・SDに関する調査・研究に関すること。 ・教育内容及び教育環境の改善に関すること。 ・教育技法の改善・向上のための具体的活動に関すること。 ・学生による授業評価の実施・結果公表と授業改善に関すること。 ・教育職員及び事務職員の大学運営についての資質開発を図るための組織的な研修に関すること。 ・その他、学長の諮問する事項等。 ・その他、FDSDの推進及び委員会に関すること。	
② 実施状況 a 実施内容 ・授業方法についての研究 ・学生による授業評価アンケートの企画・実施 ・教員による授業参観の企画・実施 ・学生指導要領の検討、特に中途退学防止について b 実施方法 ・集合研修（不参加者はオンデマンド受講＋レポート提出） c 開催状況（教員の参加状況含む） ・学生の除籍・退学防止、留學生理解、 留學プログラムに関する研修 ・ハラスメントのない学校づくりのために	R7.5.30 教育職員27名、事務職員15名 R7.6.13 教育職員26名、事務職員22名

・研究発表会	R7. 8. 7 教育職員26名、事務職員2名
・春学期授業評価アンケートの実施	R7. 07. 18～31 全授業対象
・シラバス作成および履修指導に関する研修	R7. 9. 24 教育職員25名、事務職員5名
・学生の進路決定サポートに関する研修	R7. 10. 3 教育職員24名、事務職員23名
・秋学期授業評価アンケートの実施	R6. 12. 17～R8. 01. 13 全授業対象
・カリキュラム改編に関する説明会	R8. 3. 19 教育職員22名、事務職員14名
d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況	
・授業評価アンケート結果を各教員に配布し、授業の改善策、授業方法の工夫等を記入させた後、回収	
・学生の視点に立った授業運営に努めるべく教員の意識向上	
・学科所属教員の学科運営に関する意識の共有	
③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況	
a 実施の有無及び実施時期	
・実施している。春学期、秋学期とも14～15週目に実施。	
b 教員や学生への公開状況、方法等	
・授業アンケート結果（改善策を記入済）を簿冊にして大学図書館に設置するとともに、大学ホームページ上に	

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

・該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

・該当なし

c 委員会の審議事項等

・該当なし

d その他

・該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

・該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

・該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

・該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

経営学部デジタルビジネス・マネジメント学科は、これまで経営学部が担ってきた教育・人材育成上の役割や特色をより明確化し、経営学に立脚した学問体系、実務中心の教育体制を構築するとともに、近年進化の著しいデジタル分野の動向及びデジタルを活用したビジネスに精通し、高度な専門性を有しながら、広い視野に立ち、経営事象を識別・判断できる人材を育成し、経営についてより充実した教育研究活動を行うことを目的に、令和6年4月に東京渋谷キャンパスに開設した。

令和8年度の入学者は46名（入学定員充足率0.57倍）となり、令和6年度13名（充足率0.16倍）、令和7年度39名（充足率0.48倍）と比較し、3年連続で増加傾向を維持しているものの、入学定員80名の充足には至っていないのが現状である。高校教員を対象とした説明会の開催やWebサイト・高校訪問ツールの刷新等、デジタルビジネス領域への訴求強化が一定の効果を生んだものと認識している一方、留学生の意願に比して日本人受験生の意願が伸び悩んだこと、および合格者の入学辞退率が令和7年度15%から令和8年度29%へと上昇したことは、看過できない課題であると受け止めている。

令和9年度の募集に向けては、全教職員による広報チームによる年間を通じた募集広報活動に加えて、同学科教員チームによる学科訴求の取り組みをさらに強化している。具体的には、入学実績のある高等学校を重点校に位置付けるとともに、DXハイスクール採択校を重点連携校として本学科教員による出張講義・探究学習支援等を継続的に提供することで、学科理解の促進と入学辞退率の低減を図っている。オープンキャンパスについては、令和7年度の参加者1,080名に対し、令和8年度は1,300名を目標として運営しており、すべての回において同学科の説明を実施するとともに、同学科教員による模擬講義を強化することで、教員との接点を通じて信頼感を醸成し、入学辞退率の低減を目指している。さらに、福岡キャンパスと合同で実施してきたWebマーケティングを東京渋谷キャンパス独自の体制として強化し、受験生の属性分析も深化させることで、首都圏市場に即した集客施策に反映させているところである。

あわせて、中期的な構造改善にも着手している。AIやデジタル技術を活用しビジネスを推進する人材の育成を目的とした学科であることをより明確に伝えるため、学科名称変更について事前相談を行い、現在その結果を待っているところである。また、デジタル×ビジネス領域に関心を持つ受験生層の規模やより進む少子化を踏まえ、入学定員を80名から60名へ、収容定員を320名から240名へ変更する方向で収容定員変更認可申請を行うべく準備を進めている。少人数制による教育の質的向上を通じて、出願率の強化と教育成果の最大化を図る所存である。

以上の取り組みをホームページ・各種ウェブメディア、学校訪問、オープンキャンパス等を通じて強く発信していくことで、認知度の更なる向上を図り、収容定員の充足に向けて努力していく。なお、令和8年度に必要な基幹教員8名については充足を見たところであるが、教育研究体制の更なる充実に向けて、引き続き優れた教員の補充に務める。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

記入例)

- ・令和8年10月末 公表（予定）

b 公表方法

記入例)

- ・大学ホームページ上に掲載する。

③ 認証評価を受ける計画

(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)

記入例)

- ・令和13(2031)年に評価機関(日本高等教育評価機構)の評価を受ける予定。

(注)・設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和8年度）

a 公表予定の有無 [有]

≪ aで「有」の場合≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

≪ aで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

ファイル名	学校コード	法人名称	大学等名称	学部等名称	学科等名称	その他名称	表紙1行目(備考)	設置元号	設置年度	設置区分	計画区分	担当部局(課)名	職名・氏名	電話番号	電話番号(夜間)	メールアドレス	設置基準	修業年限	入学定員	編入学定員(2年次)	編入学定員(3年次)	編入学定員(4年次)	収容定員	学生募集停止の有無	春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	令和5年度の在学者状況	令和4年度退学率	科目変更増減状況	
https://webpla	F140310110767	学校法人都築育	日本経済大学	経営学部	デジタルビジネス	0	0	令和	6年度	届出	学部の学科の設	経営学部東京造	経営学部長・寺	080-4190-8390	080-4190-8390	k.terakia@tki	改正後	4	80	0	0	0	##	-	0	0.40倍	0.40倍	93	()	4	[+16]
https://webpla-mysha	F140310110767	学校法人都築育英学園	日本経済大学	経営学部	デジタルビジネス・マネジメント	0	0	令和	6年度	届出	学部の学科の設置	経営学部東京渋谷キャン	経営学部長・寺岡幸二	080-4190-8390	080-4190-8390	k.terakia@tkjue.ac.jp	改正後	4	80	0	0	0	320	-	0	0.40倍	0.40倍	93	()	3.92	[+16]

